
《言語研究センターの活動範囲について》

▶言語研究センターの役割は第一に教員の教育・研究の補助にあるべきだと考えるが、現状は全くそれが実現されていないのは甚だ遺憾である。まず、言語センターは我々教員のためにどのようなサービスを提供し得るのかを明らかにし、その結果をマニュアル化して提示すべきである。個々の教員の必要とするサービスが提供される

ことで、教員もセンターを積極的に利用する可能性が開かれる。そうした状況が出現しなければ、共同研究などは画に書いた餅にすぎないし、一体言語研究センターに何の存在価値があるのかと思わざるを得ない。抜本的改革を強く希望する。

(鈴木)
